

第4章 スポーツ振興施策の展開

1 「する」スポーツの振興

施策・取り組み方針

誰もが、それぞれの年齢や性差、体力等に応じて、生涯にわたり日常的にスポーツに親しむことができる環境の充実とともに、国際、全国大会などでの活躍の機会が増えるよう、競技力の向上に努めます。

「する」スポーツの振興を通じて、スポーツの楽しさや爽快感、達成感などを感じられる機会が増え、多くの人の暮らしが喜びに溢れた豊かなものになることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

(1) 生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実

①ラジオ体操の推進

- 誰もが親しみやすく、気軽に実践できるラジオ体操を推進することで、スポーツを始めるきっかけづくりに繋がります。
- スポーツ推進委員との協働やラジオ体操実技講習会の開催などにより、ラジオ体操の普及に努めます。
- 夏休み中に開催の「おはよう！ふれあいラジオ体操会」を安城市版「スポーツチャレンジデー」（市民参加型スポーツ行事）と位置づけ、町内会、子ども会などへの働きかけにより、参加者の増加を図ります。

②スポーツをはじめるきっかけとなる機会の提供

- 国内の「スポーツチャレンジデー」の実施事例の調査・研究を行います。
- 子どもや高齢者を対象とした種目を取り入れるなど、幅広く内容の充実を図りながら、スポーツスクールを開催します。
- 子どもから高齢者まで年齢や性別を問わず、誰でも取り組みやすいニュースポーツは、用具・器具を充実し、利用希望者への貸出しを行うとともに、出前講座やスポーツ推進委員との協働により、ルールや楽しみ方について情報提供を行います。
- 今後実施したい種目としても人気が高く、気軽にできるウォーキングやランニング・ジョギングは、歩け・ランニング指導員と協働して機会の提供と情報発信を行います。
- 「安城シティマラソン」や「安城市民デンパーク駅伝大会」の開催により、ランニング・ジョギングの日常スポーツとしての定着を図ります。
- キャンプ、ハイキングなどの野外活動も、スポーツとしての普及に努めます。

- スポーツへの関心の向上のため、様々なニーズに対応した健康、防災、環境などの他分野の要素も加えたスポーツ機会の創出に努めます。
- スポーツをするメリットや恩恵などを感じることができ、意欲を駆り立てるような魅力あるスポーツ機会の創出や仕組みづくりを検討します。

③地域におけるスポーツ機会の提供

- スポーツ推進委員が中心となり、初心者でも楽しめるニュースポーツや健康づくり、体づくりを意識した多様なスポーツの体験会などを開催し、地域におけるスポーツ機会を充実します。
- 地域のスポーツ団体の活動紹介など、地域で行われるスポーツ活動の支援を行います。
- 幅広い世代と一緒にスポーツを楽しみ、交流を図ることで、地域のコミュニティを形成し、スポーツによるまちづくりに努めます。

④ライフステージに応じたスポーツの普及促進

- 誰もが年齢、性差、体力に応じて、スポーツに親しむことができるよう、ライフステージに応じたスポーツ機会の創出と情報提供に努めます。
- 子どもに対しては、体力・運動能力の向上とスポーツへの興味や関心を抱かせるため、家庭、学校、地域などと連携して、スポーツに楽しく親しめ、身体を動かすことができる環境の充実に努めます。
- 子育て世代である20歳代から40歳代に対しては、将来に向けた健康づくりやストレスの解消のため、子どもと一緒にいるスポーツ機会の提供などにより、スポーツに親しめる環境の充実に努めます。
- 中高年代に対しては、体力、運動能力の低下や生活習慣病予防のため、健康づくりを考慮したスポーツ機会の提供などにより、スポーツに親しめる環境の充実に努めます。
- 高齢者に対しては、元気で豊かな生活ができるよう、高齢者に適したスポーツの紹介などにより、スポーツに親しめる環境の充実に努めます。
- 障がい者に対しては、健康や運動機能の向上、達成感を味わうなどの効果、社会参加の機会につなげるため、関係機関と連携して、スポーツに親しめる環境づくりに努めます。

⑤スポーツ情報の提供充実

- スポーツに関する様々な情報を、広報あじょう、ホームページ及びSNSなどを利用して、より分かりやすく提供します。
- 講座や講演会などの開催により、スポーツや健康づくりに関する知識の普及に努めます。
- 地元を中心としたメディアに積極的に情報提供するなど、メディアを活用した情報提供を行います。
- 各種スポーツ団体の情報は、公益財団法人安城市スポーツ協会との連携により、発信できる環境づくりに努めます。

(2) 競技スポーツの振興

①競技大会の開催・支援

- 安城選手権大会を開催し、市民の競技力向上を図ります。
- 公益財団法人安城市スポーツ協会加盟団体や各種スポーツ団体が開催する競技大会などの開催支援を行います。

②全国大会等出場激励金制度の実施

- 激励金制度の周知に努めて、全国大会などに出場する選手に交付し、競技者の意欲向上を図ります。
- 全国大会などへ出場する選手の情報を公益財団法人安城市スポーツ協会加盟団体と共有するなど、激励金の交付対象となる選手の把握に努めます。

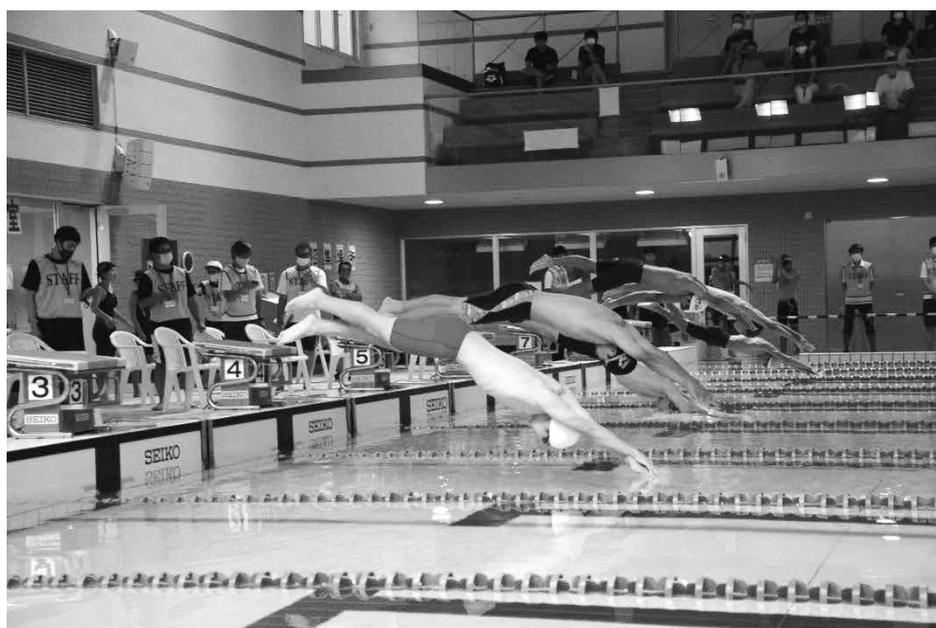
③スポーツ表彰制度の実施

- 選手や指導者の功績を称え、競技者の励みとなるよう、全国大会などで優秀な成績を収めた選手やスポーツの普及発展に貢献した人の表彰を行い、その活躍について情報提供を行います。

④ジュニア選手の育成

- 次代を担うジュニア（小、中、高校生）選手の競技力向上を図り、国民体育大会などの全国大会で活躍され、オリンピックなどの国際大会へも出場が図られるよう、公益財団法人安城市スポーツ協会加盟団体や地元企業スポーツチーム、プロスポーツチームと連携し、技術指導会や競技会を開催します。

■安城選手権大会夏季水泳競技会



2 「みる」スポーツの振興

施策・取り組み方針

スポーツをみる楽しさを感じ、さらに、スポーツをするきっかけにつながるよう、関心度の高い競技やトップレベルの試合が観戦できる機会の充実を図ります。

「みる」スポーツの振興を通じて、夢や感動を味わうことができる機会が増え、多くの人に、暮らしの新たな楽しみが生じることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

(1) スポーツ観戦機会の充実

①模範試合や指導会の開催

- トップレベルの選手を招致した模範試合や指導会などを開催し、スポーツの観戦機会を提供します。
- ジュニア（小、中、高校生）選手の意欲や競技力向上のため、地元企業スポーツチームやプロスポーツチームの選手と触れ合うことができる指導会などの機会の提供や開催支援を行います。

②ハイレベルな試合の開催支援・誘致

- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を通じたスポーツへの関心の高まりを継続させるとともに、地元への愛着心を高めるため、地元企業スポーツチームが出場するトップリーグや、全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）などのハイレベルな試合の開催支援を行います。
- 国内トップリーグの試合や国際大会などの誘致に努め、ハイレベルな試合を観戦することができる機会の提供に努めます。

③地元のトップレベル選手・チームの紹介

- 地元のトップレベルの選手やチームが、身近な存在として感じることができるよう、チームや選手の活躍、地域貢献活動などの紹介に努めます。

3 「おしえる」スポーツの振興

施策・取り組み方針

安全に楽しく、質の高いスポーツの指導が行われるよう、スポーツ指導者の養成を行います。

「おしえる」スポーツの振興を通じて、スポーツの指導を行い、指導を受けた者から尊敬され、さらに質の高い指導につながる好循環を生み出します。適切なスポーツ指導が行われ、多くの人が充実感や満足感を味わう機会が増えることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

(1) 優れたスポーツ指導者の養成と活動機会の拡大

①スポーツ指導者養成講習会への参加促進

- 本市独自のスポーツ指導者資格を付与する講習会として、スポーツ指導者養成講習会を開催します。
- スポーツ少年団の指導者や学校運動部活動の顧問などへの案内を行うなど、スポーツ指導者養成講習会の参加者を増やすための情報提供を図ります。
- 誰でも参加できる公開講座を開催するなど、スポーツ指導者養成講習会の内容の周知を図ります。

②指導者の資質の向上

- 変化する社会状況に対応した十分な内容を維持するため、最新の情報を取り入れるなど、スポーツ指導者養成講習会の内容を充実します。
- 指導者の自己啓発の機会を拡大するため、国や県が開催する講習会や研修会などの情報や公益財団法人日本スポーツ協会が提供するスポーツ指導者の資格に関する情報について、ホームページなどで情報提供に努めます。

③スポーツ指導者資格保有者の紹介

- スポーツグループや学校運動部活動からの派遣要請に応えるため、スポーツ指導者資格の保有者の氏名、種目、指導対象などをホームページなどで紹介し、活動機会の拡大を図ります。

4 「ささえる」スポーツの振興

施策・取り組み方針

スポーツ推進委員、ボランティア及び協賛企業などが最大限に力を発揮できる環境を整え、スポーツをサポートする体制の強化を図ります。

さらにボランティアや企業と連携し、スポーツを「ささえる」輪を広げること
で、多くの人々の暮らしが心豊かなものになることにより、市民の元気な笑顔を広げ
ます。

(1) スポーツ推進委員の活動支援

①スポーツ推進委員の認知度向上

- 地域におけるスポーツ振興の円滑な活動ができるよう、スポーツ推進委員の紹介を行い、認知度の向上を図ります。

②スポーツ推進委員の活動充実

- スポーツ推進委員が企画するニュースポーツ体験会などの情報提供を行い、参加者の増加に努めます。
- スポーツ推進委員としての資質や技能の向上のため、研修会を開催します。

(2) ボランティアをはじめとする各種協力の拡大

①ボランティアの育成・支援

- 市主催のスポーツ大会でのボランティア内容を、具体的でわかりやすく示し、ボランティアを積極的に活用します。
- ボランティアが増えるように、ボランティアの登録制度など仕組みづくりについて、調査・研究を行います。

②スポーツ団体、企業等からの協力拡大

- 市主催のスポーツ大会では、スポーツ団体、企業、学校をはじめとした各種団体に働きかけを行い、ボランティアの増加を図ります。
- 民間企業などの賞品の提供をはじめとした協賛をいただくなど、よりスポーツ大会を充実させるため、多面的なスポーツへの支援について確保に努めます。

(3) 中学校部活動の運営支援

- 子どもたちのスポーツ環境の充実のため、国の方針や社会情勢の変化を踏まえ、令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行と部活動の適切な運営について、関係機関と連携しながら検討します。

■スポーツ推進委員ラジオ体操講習会



5 スポーツ施設環境の整備

施策・取り組み方針

気軽に、安心してスポーツ施設を利用することができるよう、スポーツ施設の充実と適切な管理に努めます。

スポーツ施設環境の整備を通じて、いつでも、どこでも、だれでもスポーツを手軽に楽しむことができ、多くの人が暮らしに豊かさを感じることで、市民の元気な笑顔を広がります。

(1) スポーツ施設環境の充実

① スポーツ施設の計画的な整備・充実

- 市民のニーズや利用状況などにより、スポーツ施設の適正な整備・配置及び維持に努めます。また、必要に応じて、東京2020オリンピック・パラリンピックにて採用されたアーバンスポーツ（都市型スポーツ）など、新たなスポーツ・健康づくり施設の整備について、公民連携の視点を取り入れながら調査・検討などを行います。
- スポーツ施設は、初心者からトップレベルの競技者までが利用しやすいよう設備の充実に努めます。
- 施設の老朽化への対応のため、長期的な視野に基づく計画的な改修を行います。
- 誰もが安心、安全で施設利用ができるよう、案内や表示の工夫に努めます。

② 身近なスポーツ施設・設備の充実

- 歩いていける公園や広場の整備など、身近にスポーツができる場所の充実を検討します。
- スポーツに利用されている公園は、スポーツ施設としての健全度や安全性を考慮して、施設の充実を検討します。

③ 学校施設の設備等の充実

- 学校施設開放事業の利用者からの要望を把握し、照明設備等の修繕、各種器具の充実を図ります。
- 学校行事などに支障が出ない範囲で、開放日や利用種目の拡大が図られるよう調整に努めます。

(2) スポーツ施設の適切な管理

①スポーツ施設の利用促進

- スポーツ施設の予約状況、利用方法、料金など、施設に関する情報を分かりやすく提供します。
- より多くの市民が利用できるよう、スポーツ施設の予約や申込みなどの運用方法について、調査・研究を行います。
- 駐車場の確保のため、施設利用者に対し、車の乗り合わせの要請や平日での開催依頼などの利用調整を図ります。
- 効率的な管理運営を推進するために、公民連携による取り組みの拡大を検討します。

②スポーツ施設における安全確保

- スポーツ事故の未然防止のため、施設や用具の定期的な点検や保守管理の徹底を図ります。
- AED（自動体外式除細動器）を主要スポーツ施設に設置するとともに、設置場所について分かりやすい案内を行います。

【スポーツ施設の予約について】

本市のスポーツ施設予約は、全て「あいち共同利用型施設予約システム」にて行っています。

■あいち共同利用型施設予約システム

パソコン：https://www.e-shisetsu.e-aichi.jp/web_info.html

スマートフォン：<https://www.e-shisetsu.e-aichi.jp/sp/>

携帯電話：<https://www.e-shisetsu.e-aichi.jp/keitai/>

■利用者登録について

利用者登録をするとインターネット上から仮予約が可能です。また窓口での予約申請も簡単に済みます。

- 団体・個人の利用者登録をされる方は窓口にて登録申請書を記入の上、提出していただきます。
- インターネット上でも情報を打ち込むことはできますが、申請書の記入と窓口での申請が必要になります。
- 窓口での登録が完了すると、インターネット上で施設の仮予約が可能になります。
- 施設の仮予約をされた方は、利用日の10日前までに窓口にて本予約手続きを行ってください。

■利用者登録申請書

利用者登録申請書は東祥アリーナ安城、スポーツセンター、明祥公民館にて配布しています。また、市のホームページから取得することもできます。

6 スポーツ団体等の育成・支援

施策・取り組み方針

スポーツ団体の活動充実のため、育成と各種支援を行います。
スポーツ団体の育成・支援を通じて、スポーツが盛んに行われ、多くの人が健康で楽しみを感じながら暮らすことにより、市民の元気な笑顔を広げます。

(1) スポーツ団体等の育成・支援

①ホームチームサポーター事業の推進

- 市内にある全国や世界で活躍する地元企業スポーツチーム（ホームチーム）と市との補完関係を強化し、ホームチームサポーター事業を推進します。
- ホームチームが活躍するトップレベルの試合を応援し、みることができる機会の充実や情報の提供に努めます。
- ホームチームの選手と触れ合うことができる指導会などを開催することで、ジュニア（小、中、高校生）世代の意欲や競技力向上を図ります。
- 全国や世界で活躍するホームチームを市民が一丸となって応援することで、市への愛着心の高揚や選手との絆が深まり、チームを地域の財産として支援できる体制づくりに努めます。

②公益財団法人安城市スポーツ協会の組織体制の充実・支援

- スポーツ振興の幅広い取組みを推進していくため、公益財団法人安城市スポーツ協会の組織体制の充実を支援します。
- スポーツ施設を最も熟知し愛着を持った者による管理が最良の形であると考え、公益財団法人安城市スポーツ協会が、総合運動公園を中心としたスポーツ施設の現場管理者として活動できる体制となるよう支援します。

③各種スポーツ団体の育成・支援

- スポーツスクールの参加者には、自主グループを形成して自立したスポーツ活動ができるための支援を行います。
- 総合型地域スポーツクラブの認知度を高めるための情報提供や、運営面のアドバイスなど、活動充実のための支援を行います。
- 各種スポーツ団体の活動を支援し、新たな団体の育成に努めます。

7 東京2020オリンピック・パラリンピック開催後 におけるスポーツの振興

施策・取り組み方針

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催や第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の開催決定などを経てスポーツに対する関心が高まるなか、こうした動向をさらに大きなものにするための機会の創出や情報提供に努めます。

このような国際大会の開催などを契機としたスポーツの振興を通じて、多くの方がスポーツの素晴らしさを再認識し、スポーツに親しみ、関わり、健康で心豊かに暮らすことにより、市民の元気な笑顔を広げます。

（1）東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーの継承

- 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを受け継ぎ、国際大会や全国大会の出場など、より高みを目指す子どもたちや選手の支援に努めます。
- 東京2020オリンピックのカナダ国ホストタウンとしての経験を活かし、第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）に出場する選手とのオンライン交流、事前合宿、パブリックビューイングなど、アジア競技大会においてもナショナルチームとの国際交流が行えるよう努めます。
- 本市における東京2020オリンピック・パラリンピックに関連した取り組みの市民への周知や、取り組みを活かしたスポーツイベントの開催などにより、本市における東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーの継承に努めます。
- 東京2020パラリンピックで注目されたボッチャ競技を中心とした、性別・年齢・障がいの有無等に関係なく、多様な主体が楽しめるスポーツの普及啓発に努めます。

(2) 第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）などの開催

機運の醸成と関心の向上

①第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）などの開催機運の醸成

- ・第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）などの国際大会がより身近なものと感じることができるよう、出場選手などとの交流機会の創出など、開催機運の醸成につながる取組みに努めます。
- ・第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）などの国際大会の成功の力添えとなるよう、大会やイベントなどの情報や、大会運営をささえるボランティアの募集についての情報提供に努めます。
- ・第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）などの国際大会へ出場する地元選手の紹介や応援機会の創出など、地元への愛着心の高揚と市民の連帯感の醸成に努めます。
- ・「みる」スポーツの観戦機会のさらなる充実と、スポーツによる地域活力の向上を目指し、本市が第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）の競技開催地の一つとなるよう、組織委員会への働きかけを行います。

②スポーツに対する関心の向上

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催によるスポーツの関心の高まりが一過性のものとならないよう、第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）の開催決定などを好機として捉え、スポーツの素晴らしさを再認識していただくための機会の充実と、スポーツの楽しさなど様々な情報提供を行います。
- ・過去大会に出場したオリンピック、パラリンピアンをはじめとし、国際大会に出場する選手などとの交流機会を創出し、スポーツに対する関心の向上に努めます。

■川畑瞳選手・山田恵里選手 東京2020オリンピック壮行会

